

レソトのニジマス養殖場

在南アフリカ日本国大使館
(レソト兼轄)



レソトは、世界で唯一国内全土が1,000m以上の山岳地帯という地理的条件をもち、周囲を南アフリカに囲まれた内陸国ですが、乾燥した大地が広がる南部アフリカの貴重な水瓶として、豊富な水資源を南アフリカに輸出しているほどです。

海がないため水産業のイメージはありませんが、高地ゆえに冷たい水が手に入り、トラウト（ニジマス）の淡水養殖が精力的に行われています。

アフリカ2番目の大きさを誇るカツェダムではトラウト（ニジマス）養殖が行われています。この養殖事業を行う会社は Sanlei。山岳地帯であるレソトを表す日本語の“山嶺”からとられたそうです。ダムの豊富な水を活用したトラウト養殖は、2012年から始まり、生産量の一部は日本にも輸出されています。